

# 『川面に映える朝日に寄せて』 寸評

- ・内面の感動がすこしずつ音楽に染み出してくるような作品
- ・めのまえの光景がいつしか心象風景と化す
- ・せまい音域でうねりを作るm.11 までと音域を広げるm.12 からの対比
- ・音数（おとかず）の多い四重奏にやや手こずってる様子
- ・タイトルがよい

## 完成度をさらに上げるために

- ・ *Espressiv* → **Espressivo** 曲頭ゴチック、非イタリックで
- ・ m.12 *Piu mosso.* → *Più mosso* ピリオドなし、非イタリック、*ù*にアクセント
- ・ m.13 *A tempo* → *a tempo* 小文字表記が一般的
- ・ m.1-11 ほぼ Va. とチェロがひっくりかえっている
- ・ m.7 Va. この重音はとれない
- ・ m.12 からの16分音符はたとえば4つずつ括るスラーがつくのでは
- ・ m.11 b.4 Vn.I 旋律短音階でラ<sup>4</sup>でもいいかも
- ・ m.14 Va. オクターヴ下でも効果がよい
- ・ m.12 *Più mosso* はあるテンポからさらにテンポを速める指示  
*Tempo rubato* に続く標語としてはそぐわない

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

作品世界にひきこまれます。

持魔 勉